



2020年2月25日発行  
通算第203号

# 会員だより 2020年 3月号

NPO 法人 大田・花とみどりのまちづくり  
〒146-0094 大田区東矢口 3-17-2-103  
Tel&Fax. 03-3734-7932 / npoogc@yahoo.co.jp  
http://hanamidori.sakura.ne.jp/



正会員・運営委員研修

## 豊洲エリア 公園&植栽見学レポート

### 見学箇所 マップ



次ページに参加レポートがあります通り、2月6～7日の2日間、正会員と運営委員を対象とした研修を行いました。目的は『会のこれまでの歩みを振り返り、現況の課題を共有し、今後に向けて知恵を出し合うこと』ですが、それに先立ち、最近 NHK E テレ「趣味の園芸」によく登場する豊洲エリアの公園や、まちなかの植栽の見学を行いました。参考に見学箇所の簡単な位置関係マップを左に記します。ゆりかもめ・東京メトロ有楽町線豊洲駅に集合し、隣の新豊洲駅までの道のりを、散策しながら歩きました。

最初に豊洲公園で、パークセンター副所長の近藤かおりさんから「豊洲ガーデニングクラブ」の取り組みのご案内をいただきました。『たねからの花育て』で公園内のガーデンづくりを行う活動で、毎週金曜日10時～11時30分に行われています。特製の育苗フレームを用いて、夏秋花壇植物のたねまきを2月からスタートされるとのことで、その工夫と手法に皆さん興味津々でした。※近藤さんは2年前の同研修で訪れた「フローラルガーデンよさみ」でたねからの花育てを指導されていた方です。その際には私たちもジャルダンクラブの皆さんと一緒に、ポット上げ体験をしましたね♪



↑冬越し実験のようす



↑育苗用の花台



↑オリジナルデザインのフレーム

豊洲周辺はオリンピック・パラリンピックの競技会場が多く整備されていることもあり、「訪れる方をきれいな花とみどりでおもてなししよう！」という取り組みが盛んです。江東区主催の「花と緑のおもてなしガーデニング講座」も行われ、豊洲6丁目公園や、豊洲6丁目第二公園の「おもてなし花壇」では講座修了生有志による花壇のお手入れ活動が継続して行われています。

また、新しい街並みで、おしゃれな建築物に似合うように設計された低木と宿根草による植栽も多く見られ、見ごたえありました。また季節を変えて訪れてみたいですね♪



↑豊洲公園内のコミュニティガーデン (月1回活動)



↑芝浦工大付属中学・高校前の植栽。低木と宿根草とベンチで構成。



←豊洲6丁目第二公園でのお手入れ活動の様子。こちらのプランターは、底の部分に水タンクが内蔵されていて、真夏も週1回の水やりで乗り切れた、とのこと。日ごろから水やりの大変さが課題になっていることから、皆さんの大絶賛！を浴びていました。

## ♪ 春は名をみの風の寒さや♪ 2月の活動をご報告します♪



### せせらぎ園芸セミナー

#### 「日本と中国にみるツバキの文化」 講師:浦辺冬子氏 2/2(日)田園調布せせらぎ公園



講師:浦辺冬子氏  
(日本家庭園芸普及協会)

5月のせせらぎセミナーで「千年のバラ」のお話をいただいた浦辺冬子先生(日本家庭園芸普及協会)に、今回は「ツバキの文化」についてご講義いただきました。ツバキ・サザンカは日本原産で、古くから古事記・万葉集などにも詠まれ、神聖な樹木とされていました。仏教との結びつきも深く、ツバキの杖が邪気を払うおまじないとして用いられていました。中国ではツバキを「山茶花」、サザンカを「茶梅花」、センダン科のチャンチンのことを「椿」と書きます。中国のツバキは約230種あり、葉や新芽を摘んでお茶にするものを「茶」、種から油を取るものを「油茶」、花を觀賞するものを「山茶」と呼んで区別しています。

ツバキの材質は固く、ろくろ細工、農具の柄、将棋の駒、そろばんの玉、印鑑などに使われています。木灰は染色、日本酒の醸造などに使われています。このように、ツバキは花を愛でるだけでなく、生活に欠かせない樹木として多くの人に親しまれています。ヤブツバキが世界で栽培されている園芸品種の元になっています。中国原産のトウツバキは、大輪の花が咲く

ので欧米では大変喜ばれ、トウツバキの血を引いた花が好まれている一方、日本では花の気品や可憐さなど楚々とした野生に近い花が好まれています。ツバキの花は伊豆大島が有名ですが、日本各地にツバキの名所があるそうです。色々な花を楽しみに出かけてみたいですね。沢山の資料を頂き、中国雲南省の映像を見たりで、あっという間の2時間でした。(井部豊子)

### 正会員・運営委員研修 2/6(木)、2/7(金)リフレフォーラム(豊洲)

2/6(木)午前は、研修の前に近代的なオフィスビルとマンションに囲まれた新しい街を一望できる、豊洲パークガーデン内の花壇と「オリ・パラリンピックおもてなし花壇」を見学しました。

午後からの研修では、牧野事務局長より当会の歴史(立ち上げの苦労と今までの活動の経過)の説明を受けました。その後、班に分かれて会の強みと課題から始まり、私の参加した班では、現在休止中のGHC(ガーデンヘルパーズクラブ)事業について活発な意見が交わされました。

2日間の研修に参加した感想は、

- ①「おもてなし花壇」のネーミング…蒲田花壇(円形、南口等)にも名前を付けて区民にアピールを検討すべきと感じました。
- ②水やりをしないプランター設置には驚きました。是非、当会の高齢化対策に検討を期待します。
- ③会員拡大は、日頃イキイキと作業している姿をPR、イベント参加時に看板や引き続きチラシ配布等、知らせる運動の取り組みが大切。
- ④大田区が掲げているフレイル対策(気力や体力が落ちてきた高齢者に元気になってもらう施策)の実践活動として、GHC事業(高齢者への日常支援、雑草駆除等のお手伝い)、花の咲く時期に合わせた区内の博物館や美術館巡りをする企画等が提案され、良いアイデアだと思いました。
- ⑤当会の歴史と活動の経過については、大変勉強になりました。また、立ち上げた運動の想いを伝えていかなければと思いました。

今回の研修参加者は6日、7日で延べ26名でした。(田中亨)



## 第13回NPO・区民活動フォーラム 2/9(日)池上会館

2月9日(日)池上会館で開催されたNPO・区民活動フォーラムでは、52の区民活動団体による体験ワークショップ、ブース展示、お楽しみショー、模擬店などでそれぞれの活動紹介が行われました。

昨今の「新型コロナウイルス」の影響で人出は少ないのでは…と予想していましたが、小さなお子さん連れの家族や高齢の方々が大勢来場されていて大変びっくりしました。

当会の場所は1階のブース展示入口近くに位置し、参加したスタッフは12名。無料で配布したラミネート加工の押し花しおりは早々になくなり、ラベンダーの匂い袋(50円)120個も完売しました。

立ち寄ってくださった方にはパンフを配布して活動内容を紹介しましたがうまく伝わったでしょうか。

終了後皆さんの感想で「掲示や販売の陳列の仕方にもう少し工夫が必要」との意見があり、今後の検討課題となりました。



私たちは配布や販売でしたので時間的に余裕があり、交代で他団体のブース、スタンプラリー、模擬店でおいしものを食べるなどして楽しく周りました。いろいろな活動があり、刺激を受ける催しでした。

個人的には「OSPC動画同好会」で動画映写を習い何かに活用したいと思いました。

今年会場にいらっやれなかった方！ぜひ次回お出かけになることをお勧めします。

(鳥居晴美)



## みどりの縁側・今月の活動

### ◆ネイチャーウォーク「植物の話」～七草を中心に～ 2/1(土)



日本では昔から、年の初めに「若菜摘み」という雪の間から芽を出した草を摘む風習があり、これが春の七草の原点とされています。今月は春の七草を中心に、冬を過ごす植物を観察しました。春の七草のうちの5種は、左の写真にもあるように、現在では名称が変

わっています。「スズナ」「スズシロ」と言われるより「カブ」「ダイコン」と聞くと一気に身近なものに感じられますね。日本には四季があり、春に芽を出し花をつけて秋にタネを播いて枯れる…これが一般的ですが、最近は冬も青々とした植物が多くみられます。これらの多くは外来種です。(上田志朗)

### ◆公園 de 健康 「はじめてのウォーキング」 講師:宮川誓氏 2/8(土)

区主催の「はじめてのウォーキング講座」、宮川誓先生(健康運動指導士、ジョギングマスターインストラクター)をお招きして開催しました。「普段の散歩をウォーキングに」ということで、靴の履き方、靴紐の結び方から始まり、正しい姿勢、ストレッチ、ウォーキングドリル(反復)、そして公園のウォーキングコースをみんなで歩きました。

天気もよく、梅の花が咲き始めた公園でのウォーキングは、とても気持ち良かったです(^^)ウォーキングコースを歩いていた受講生は、準備運動の成果が歩く姿勢に反映されていて、皆さんとても美しい歩き方になっていました。これからは、歩く姿勢を整えてからウォーキングすることを心しなくてはと実感しました。



# 活動においては 安全への配慮を第一に！

私たちの会は、駅前花壇、圃場や公園など公共の空間での活動が多いことから、**安全第一での活動**を最優先に考えています。ご自身の安全はもちろん、**周囲の環境(通行人など)への配慮も忘れずに**、活動してください。

(以下、当会「活動ガイドブック」より抜粋)

■安全確保のため、また万一の場合の対処のため**各活動に「責任者」を配置**しております。各活動現場においては、必ず責任者の指揮のもとで活動してください。

**それでも「万一」のときに備えて保険に加入しています。**

■当会は大田区社会福祉協議会に登録しており、当会に会員として入会されますと、事務局より「ボランティア保険」への加入手続きを行います。「ボランティア保険」は一人一口制となっており、加入するとすべての団体でのボランティア活動に適用されますので、**他団体で既**に加入されている方は、重複しないように、その旨、事務局までお申し出ください。

■「ボランティア保険」は活動時間中だけでなく、**活動現場への往復の事故にも適用**されます。ただし、**帰りに寄り道をされた場合は適用されません。**

■ボランティア保険とは別に、大田区からの受託事業に関しては、別途、保険に加入しています。こちらの保険は**活動時間中のみの事故が対象**となります。

**事故やケガが発生したら「これくらいのことと言うのは、恥ずかしい」「面倒をかけてしまうのは申し訳ない」などと遠慮したり、自己判断したりせず、どんな些細な内容でも構いませんので、事務局(安全・保険担当:堀崎)まで、ご相談ください!**



## スタッフ募集のご案内

※ご協力いただける方は活動アンケートに ○をつけて提出してください。多くの方の参加をお待ちしています。

### 大岡山さくらまつりスタッフ

日時: 3月28日(土)

★スタッフは9時に大岡山駅前に集合

内容: 箱庭ガーデンづくりの準備～サポート等  
地域商店会・町会のお祭りの一環として子どもたちが箱庭ガーデンを作るのをお手伝いします。  
(担当: 牧野)

### 二十一世紀桜まつりスタッフ

日時: 3月29日(日)★スタッフは9時に集合

会場: 大田区民プラザ

内容: 「納豆の蓋の額で飾り物を作ろう」  
室内での作業です。来場者さんが飾り物を作るお手伝いをします。(担当: 緑のイベント)

中止になる可能性があります。その際のご連絡のため、必ずエントリーしてください。

## 「海苔付け体験」は諸事情により中止になりました

このたび新型コロナウイルスについて、日本政府が当該感染症を「指定感染症」とする政令の施工を受け、たくさんの方の集まる企画をしないように、との指導が各所にて行われているため、皆さまの健康と安全を最優先に考慮し、大変残念ですが今回ご案内予定の下記イベントは、中止することになりました。

- ・日時 3月9日(月) 13:00～15:00 位まで  
12:45 までに現地集合
- ・場所 大森 海苔のふるさと館
- ・参加費 500 円(材料代)
- ・講師 田中久男さん、田中國男さん(当会会員)
- ・主催 大森南圃場
- ・締め切り **3月2日までに**活動アンケートにより申し込んで下さい。(大森南圃場 副責任者 阿部敏章)

<今月の会員だよりの同封物> ◆活動カレンダー

◆「みどりの縁側」だよりの ◆「まち歩き」チラシ

◆「イースター鳥の巣アレンジ」チラシ

(以下は会員のみ配布)

◆活動アンケート ◆ボランティア保険のご案内

◆「みどりの縁側」3月スタッフシフト表

★**ボランティア保険のご案内**を同封します。

所属するボランティア団体が複数ある場合、どこか一団体に加入していれば他の活動でも適用されますので、**他のボランティア団体に加入済みの方は、必ず活動アンケート用紙にて事務局までお申し出ください。**

(事務局)